

多収で病気に強い水稻新品種「そらきらり」



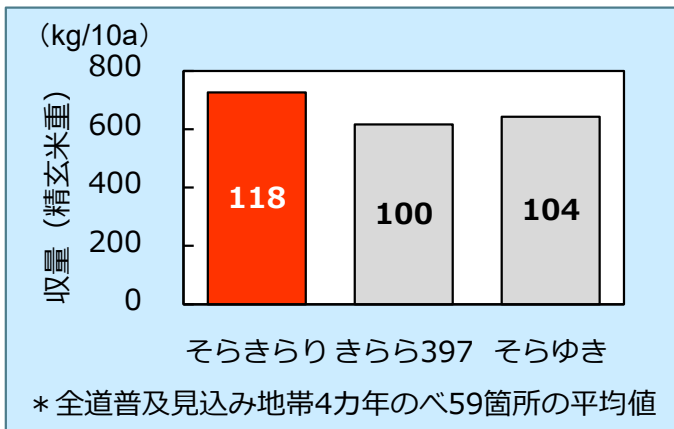
たわわに実った「そらきらり」

背景

北海道米の生産において、中食・外食需要米の安定供給、生産者の収益確保、環境負荷軽減が求められている。

成果

1 安定して優れた収量性



「きらら397」と比べて18%多収

期待される効果

新品種で「きらら397」「そらゆき」の全て (8,000 ha) を置換え、北海道米の生産振興に貢献する。

共同研究機関：上川農業試験場、道南農業試験場、ホクレン農業協同組合連合会
(協力機関：各地区農業改良普及センター、ながぬま農業協同組合、東旭川農業協同組合)

2 いもち病*に強い

そらきらり 穂いもち抵抗性“強”
きらら397 穂いもち抵抗性“中”



* 水稻栽培での最重要病害。発生すると葉や穂が枯れ、多発生の場合は減収要因となる

薬剤防除が不要：コスト削減、環境負荷軽減

3 中食・外食用に適する



上記用途における実需者からの食味・加工適性評価は「きらら397」並